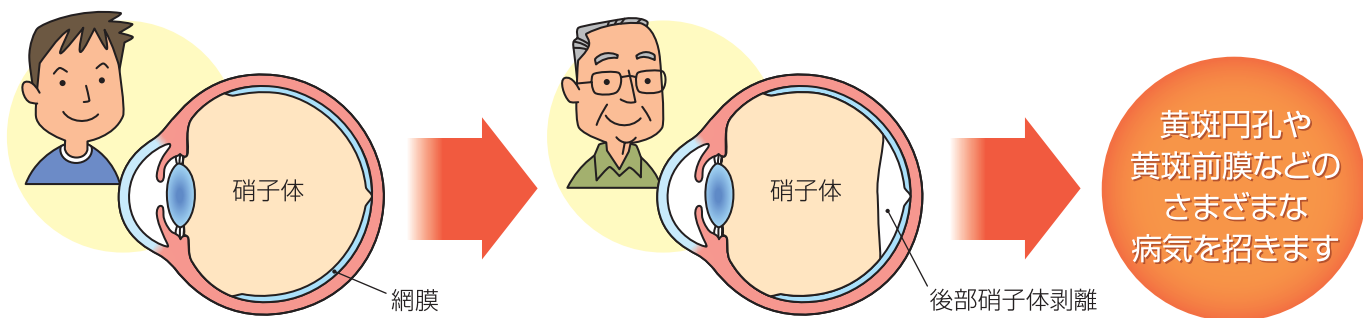


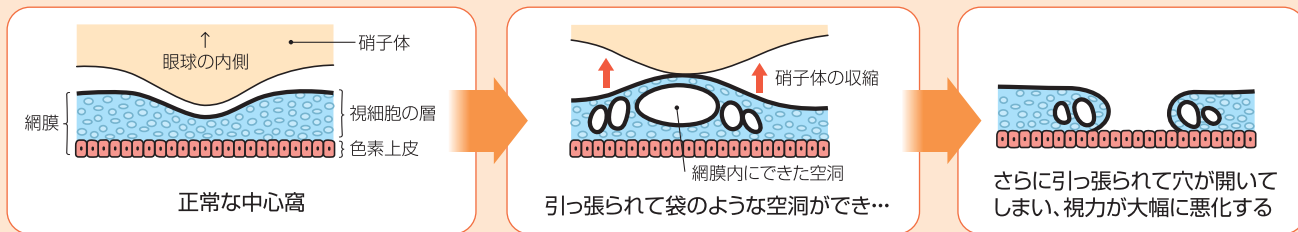
ご存知ですか？ 黄斑円孔

眼球内にあるゼリー状の組織（硝子体）は、加齢によって液体化し、やがて網膜から剥がれます。これは、誰にでも起こる老化現象で後部硝子体剥離と呼ばれ、一時的に黒い点などが見える症状を伴います。ところが癒着が強く、硝子体と網膜がスムーズに剥がれないと、様々な病気が起きます。その一つが“黄斑円孔”です。



どんな病気なの？

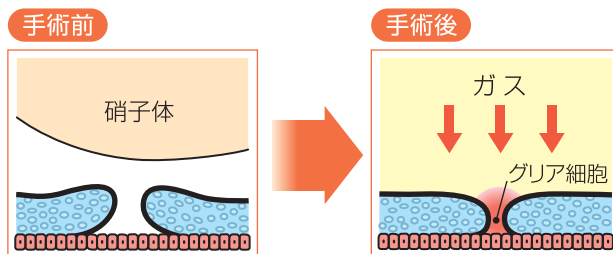
硝子体と網膜の癒着が強かったために後部硝子体剥離がすんなり起こらず、網膜の中で最も視力が鋭敏な中心窩という部分に穴が開いてしまう病気です。小さな穴でも視力に重大な影響を与えます。



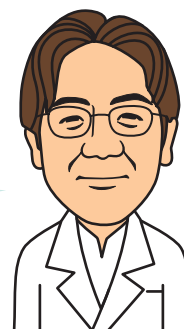
現在の治療法は？

少し前までは治療法がありませんでしたが、今は後部の硝子体を切除し、眼球内部にガスを入れる手術によって、視力を取り戻すことが可能です。

1回の手術で、8～9割の人は、不自由なく暮らせるレベルの視力に戻ります。再発も殆んどありません。



黄斑円孔が発生して長時間たってからでは、手術が成功しても視機能の回復が十分に出来ない場合があります。視力低下や歪みを自覚したら、すぐに眼科を受診し、眼底検査等を受けるようにして下さい。



出田眼科病院 医師 井上裕治

10月～12月のキャンペーン!

◆東海光学の新設計遠近両用累進レンズ(両眼)

71,400円 → 50,400円

◆薄型単焦点非球面レンズ(両眼)

46,200円 → 33,600円

※テストレンズもあります。

メガネ・コンタクトレンズ販売店

サロンド

オービス

TEL.096-351-7879

